

カーターセンター

ジョージアが生んだアメリカ合衆国元大統領、ジミー・カーター。
その偉大なる人物が今もなお活動拠点としている「[カーターセンター](#)」が、ア
トランタ市内中心部にある。

ミッドタウンから車で10分、丘の上の静かな場所にある「カーターセンター」
は、ジミー・カーター氏が大統領を辞任した5年後に設立された。入り口まで
は池のある中庭を通っていく。中に入ると左手に受付があるのでそこでチケッ
トを購入する。大人は8ドル、学生は6ドル、16歳以下は無料と、お財布にも
優しい。

始めにジミー・カーター氏の半生を描いた15分ほどのビデオ鑑賞がある。映像
とともに字幕スーパーも付いているのでとてもわかりやすい。そのビデオには
当然本人も出演しており、偉大な功績を映像と共に伝えてくれる。ビデオ終了
時にはこれから展示でその人生をもっと深く知ることができるワクワク感を感
じることであろう。ビデオは毎時30分置きに始まるので、その時間に合わせて
博物館に到着するとよい。

さあ、ビデオが終わったら展示のある部屋へと進もう。

展示はカーター氏の幼少時代から始まる。
学生時代、海軍時代と続く。そのあとのピーナッツ農家
時代、ジョージア州知事時代、そして大統領時代。とこ
ろ狭しと、海軍の制服や潜水艦のコックピットをかたど



った模型など、興味を引くものがある。
なかでも圧巻されるのは、大統領執務室を完全に再現した Oval
Room である。映画でよく見るあの執務室の
中いるかのような錯覚に陥ることであろ
う。ところどころにビデオ資料やタッチパ
ネル式資料もあり、飽きさせることがない。





また、面白いのはこの展示の始まりから終わりまでいくつもの格言のようなものが書かれていることだ。自分のお気に入りの言葉を発見するのも、宝探しのようで楽しい。

ジミー・カーター氏が大統領時代に世界を動かした大事件については広く場所をとって展示されている。なかでも、中東において長年対立していたエジプトとイスラエル間に和平をもたらした「キャンプデービッド合意」や、ソ連との軍備制限条約の「SALT II」などは細かく描かれているので勉強になる。

大統領辞任後のカーター氏の活躍も圧巻である。様々な活動を紹介する展示から、「至上最強の元大統領」と呼ばれるその理由を知ることができる。2002年に受賞した、ノーベル平和賞のメダルも展示されている。

展示が終わると、チケットを購入した受付に戻るのだが、そこはミュージアムショップになっている。カーター氏の著作を始め、アメリカ合衆国大統領の印のついたマグカップやペン、ジョージア州ならではのゴルフボールなど、面白いものがたくさんあり、つい見入ってしまう。これぞ「ジョージアでしか買えないお土産」になるのではないだろうか。



外に出ると、日本庭園がある。これは、以前カーターセンター理事を務めた吉田忠裕氏率いる YKK グループが寄付したものであるそうだ。またそれは、日本の名だたる庭師、中根金作氏によってデザインされている。アメリカ南部にしながら日本庭園を観賞できるのもこの博物館の魅力の一つである。

このジミー・カーター博物館は全米に 13 ある大統領博物館のひとつとして数えられる。ジョージア州にいたのであればこの博物館をとりあえずマスターしてみてはいかがであろうか。